

ウオダス 漁海況速報 No. 1994-2

発行日 平成30年8月6日

http://www.aomori-it.or.jp/index.php?id=2184

発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所

TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156

住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



8月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	⑬	17	18
19	20	⑳	22	23	24	25
26	⑳	28	29	30	31	

○ 漁海況 □ 漁況

○平成30年度サンマ長期
漁海況予報(道東～常磐海域)
漁期全体の来遊量は前年を上回る

小泊	(8月1～5日)
取りまとめ中	

下前	(7月6～10日)
スルメイカ	釣り 8隻 1,680.0kg
ウスメバル	釣り 8隻 500.4kg
(2,501.5kg)	刺網 7隻 2,001.1kg

	(7月11～15日)
スルメイカ	釣り 36隻 6,598.7kg
ウスメバル	釣り 7隻 393.5kg
(1,608.3kg)	刺網 10隻 1,214.8kg

鱒ヶ沢	(8月1～5日)
取りまとめ中	

大戸瀬	(新深浦)	(8月1～5日)
マダイ	定置網 3隻 13.4kg	
(21.1kg)	底建網 1隻 7.7kg	
ブリ	定置網 1隻 6.8kg	
(9.6kg)	底建網 1隻 2.8kg	

平館	(外ヶ浜)	(7月21日～8月5日)
取りまとめ中		

佐井	(7月21日～8月5日)
取りまとめ中	

深浦	(7月26～31日)
マダイ	釣り 4隻 18.2kg
(216.8kg)	定置網 12隻 192.3kg
	刺網 1隻 6.3kg
クロマグロ	釣り 2隻 65.1kg
(99.6kg)	定置網 2隻 34.5kg
ブリ	釣り 1隻 4.8kg
(4,619.2kg)	定置網 15隻 4,614.4kg
ウスメバル	釣り 26隻 471.4kg
サバ類	釣り 3隻 28.0kg
(288.0kg)	定置網 8隻 260.0kg

三厩	(8月1～5日)
マダイ	釣り 3隻 11.8kg
ウスメバル	釣り 7隻 153.6kg

大畑	(8月1～5日)
スルメイカ	釣り 46隻 1,090.0kg
マダイ	釣り 7隻 17.1kg
ウスメバル	釣り 1隻 31.6kg

尻労	(8月1～5日)
スルメイカ	釣り 4隻 315.0kg



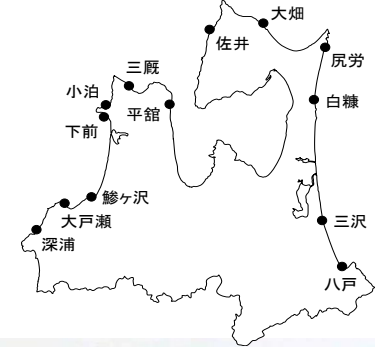
三沢	(7月21～25日)
スルメイカ	釣り 263隻 54,330.0kg
マダイ	定置網 3隻 34.9kg
ブリ	定置網 1隻 6.2kg
ウスメバル	釣り 6隻 195.0kg
マダラ	釣り 1隻 15.0kg
サバ類	釣り 6隻 15.1kg
(1,198.0kg)	定置網 3隻 1,182.9kg

	(7月26～31日)
スルメイカ	釣り 226隻 54,050.0kg
マダイ	定置網 9隻 40.8kg
ブリ	定置網 3隻 84.4kg
ウスメバル	釣り 1隻 5.0kg
(5.7kg)	刺網 1隻 0.7kg
マダラ	釣り 1隻 30.0kg
サバ類	釣り 4隻 7.6kg
(6,197.7kg)	定置網 8隻 6,190.1kg

	(8月1～5日)
スルメイカ	釣り 313隻 67,605.0kg
マダイ	定置網 3隻 11.7kg
ウスメバル	釣り 11隻 150.0kg
マダラ	釣り 3隻 150.0kg
サバ類	釣り 3隻 6.6kg
(1,358.3kg)	定置網 3隻 1,351.7kg

白糠	(8月1～5日)
スルメイカ	釣り 105隻 16,865.0kg
マダイ	定置網 1隻 3.0kg
ブリ	釣り 23隻 11.5kg
(18.2kg)	定置網 1隻 6.7kg
マダラ	釣り 14隻 8.8kg

八戸	(8月1～5日)
スルメイカ	釣り 279隻 78,045.0kg
(462,988.0kg)	まき網 26隻 384,943.0kg
ブリ	定置網 7隻 10,798.0kg
マイワシ	まき網 9隻 675,945.0kg
サバ類	定置網 7隻 2,815.0kg
(899,759.0kg)	まき網 14隻 896,944.0kg

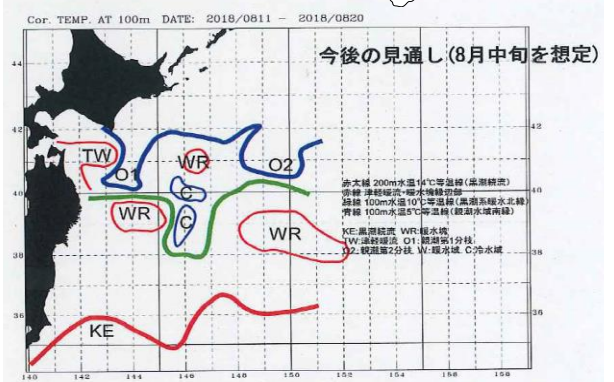


○平成30年度第3回東北海区海況予報

東北区水産研究所及び北海道区水産研究所は7月31日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。

今後の見通し(平成30年8月～9月)のポイント

- ・近海の黒潮の北限位置は平年並み(北緯35° 40' ~ 36° 10')で推移する。近海の黒潮系暖水の北限位置はかなり北偏(北緯39° 30' ~ 40° 30')で推移する。
- ・釧路沖の暖水塊は停滞する。常磐沖の暖水塊は北上する。
- ・親潮第1分枝の南限位置は平年並み～やや南偏(北緯38° 40' ~ 40° 30')で推移する。三陸近海に冷水域が形成される。
- ・津軽暖流の下北半島東方への張り出しはかなり強勢(東経143° 20' ~ 143° 40')で推移する。



沿岸各地の水温 (8月1日～5日)

日本海 24℃～26℃台 津軽海峡 21℃～22℃台
陸奥湾 22℃～25℃台 太平洋 19℃～20℃台

今回はほとんどの地点で昇温がみられ、平均前回差は +0.9度となりました。

前年と比べると、日本海が+1.1度、津軽海峡が+0.0度、陸奥湾が+0.3度、太平洋が+1.3度で、平均前年差は+0.6度となっています。

平年と比べると、各海域とも「やや高め」となっています。

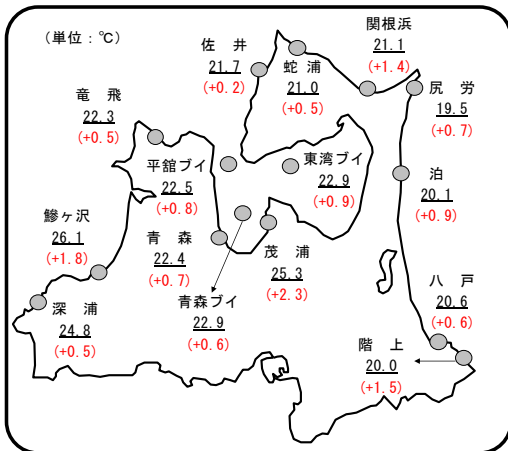


図 定地水温(8月1日～5日)
平均値(平年差)ブイは1m

○平成30年度サンマ長期漁海況予報(道東～常磐海域)

水産庁は7月31日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。

今後の見通し(漁況：平成30年8月から12月まで)の概要

- ・漁期全体の来遊量は前年を上回る。6月～7月のサンマ漁期前分布量調査では、日本近海から東経155度までの分布量は少ないものの、東経155度よりさらに沖合には昨年を上回る魚群が分布していた(図1)。これらが順次日本近海に来遊するため、9月中旬以降来遊量が増加し、漁期終盤までの来遊量は昨年を上回り、漁期を通じた来遊量も昨年を上回る。

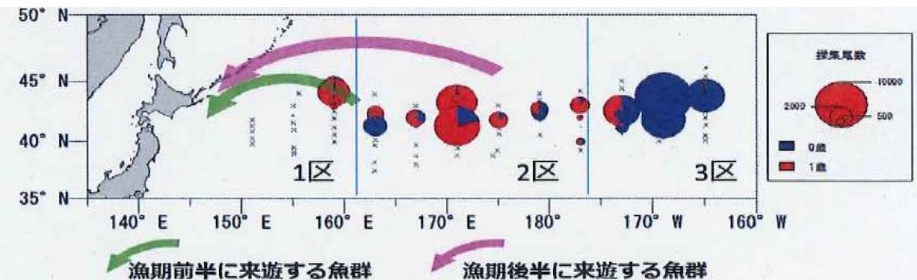


図1. 平成30年6月～7月に行ったサンマ漁期前分布量調査による表層トロール漁獲試験の結果 円の面積は漁獲されたサンマの尾数、×は漁獲のなかった調査点を示す。

緑の矢印は漁期前半に、ピンクの矢印は漁期後半に来遊する魚群の想定を示す。
漁期の序盤(9月中旬)までは、6月～7月に東経162度以西(1区)に分布していたサンマが来遊し、漁期中盤(9月下旬)以降はそれより東の2区に分布していたサンマが日本近海に来遊する。

表 沿岸各地の水温 (8月1～5日)

(単位：℃)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	24.8	+0.8	+0.1	+0.5
	鰺ヶ沢	26.1	+2.6	+2.1	+1.8
	平均	25.4	+1.7	+1.1	+1.2
津軽海峡	竜飛	22.3	+0.6	+0.2	+0.5
	佐井	21.7	+0.6	-1.4	+0.2
	蛇浦	21.0	-	+0.6	+0.5
	関根浜	21.1	+1.0	+0.6	+1.4
	平均	21.5	+0.7	+0.0	+0.7
陸奥湾	青森	22.4	+0.1	+0.1	+0.7
	茂浦	25.3	+1.8	+2.3	+2.3
	平館ブイ	22.5	+0.3	-0.2	+0.8
	青森ブイ	22.9	-0.1	-0.3	+0.6
	東湾ブイ	22.9	+0.7	-0.1	+0.9
平均	23.2	+0.5	+0.3	+1.1	
太平洋	尻労	19.5	+0.2	+1.1	+0.7
	泊	20.1	+0.8	+1.4	+0.9
	八戸	20.6	+1.2	+1.2	+0.6
	陸上	20.0	+2.3	+1.3	+1.5
平均	20.0	+1.1	+1.3	+0.9	
全体平均	22.2	+0.9	+0.6	+0.9	

太平洋の海況

(8月1日～2日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は20～21℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べて1度ほど昇温しています。これは前年同期に比べて1度ほど高い水温です。

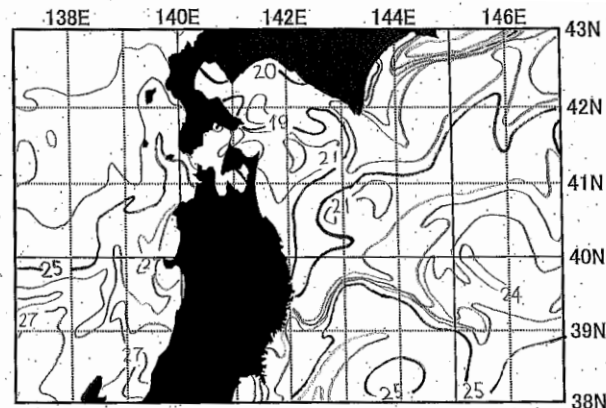
日本海の場合

(8月1日～2日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は23～27℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べてわずかに昇温しています。これは前年同期と比べてわずかに高い水温です。



資料：(一社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第36号 8月3日発行

- ・漁期中に漁獲されるサンマの魚体は、漁期前分布量調査による採集物の年齢組成から、1歳魚(おおむね29cm以上)の割合が前年よりも高く、平均体重も大きいと予測される。
- ・道東沖には暖水塊は停滞するものの、親潮第1分枝の南限位置は平年並み～やや南偏で推移すると予測される。このため、道東海域へのサンマの来遊及び南下を妨げるような水温分布にはならず、9月中旬には色丹島沖周辺に主漁場が形成されると予測される。その後は、親潮第1分枝に沿って一部のサンマが南下するもの、親潮第2分枝を通して南下するものも多く、漁場は東西に広く形成されると考えられる。
- ・近海の黒潮系暖水の北限位置はかなり北偏し、津軽暖流の下北半島東方への張り出しもかなり強勢で推移すると予測される(前ページ)。このため、魚群の南下が阻まれ、三陸海域への漁場形成は例年(10月上旬)より遅れて10月中旬となる。

